



奈良県感染症発生動向調査還元情報 (週報)

奈良県感染症情報センター

(奈良県保健研究センター内) Nara IDSC

今週の概要

■ 第 20 週の感染症情報

⊕ 第 20 週の感染症情報(5月13日(月)~5月19日(日))

奈良県および医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	7.69	→~↑	→~↑	→~↑	→
2	インフルエンザ	1.47	→	→~↓	→	→~↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	1.11	→~↑	→~↑	→~↓	↑↑
4	水痘	0.86	→	→	→	→~↓
5	咽頭結膜熱	0.63	→~↑	↑	→	↑

全県の動きと目立って異なる推移(定点当りの変化程度で実数ではない)を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数(19→20週)は216→217例と増加した。上位5疾患は①感染性胃腸炎(108→121例)、②A 群溶連菌咽頭炎(29→24例)、③インフルエンザ(37→30例)、④水痘(23→16例)、⑤突発性発しん(6→10例)であった。眼科定点の報告は流行性角結膜炎が2例あった。基幹定点の報告はマイコプラズマ肺炎が1例あった。

(有山 記)

県北部外来状況 乳幼児を中心にロタウイルス胃腸炎が増加しています。保護者にも感染がみられます。水痘の流行が保育園児でみられ、大阪に通勤している方に風疹がでています。インフルエンザはB型が地域の学校でみられ、学級閉鎖もあります。

(矢追 記)

県中部地区概況 報告数は202例で、前週報告の175例から増加。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④咽頭結膜熱、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。感染性胃腸炎の報告数(113例)は、第18週以降連続での増加。インフルエンザの報告数(47例)も、増加。咽頭結膜熱の報告数(8例)は、ほぼ横ばい。水痘の報告数(12例)は、やや減少。A 群溶連菌咽頭炎の報告数(7例)も、やや減

少。依然としてインフルエンザ定点からの報告が、桜井 HC 管内；10 例、葛城 HC 管内；37 例の計 47 例で、定点当たりの報告数は 2.14 と 2 週連続での増加。眼科定点からの報告が、桜井 HC 管内より流行性角結膜炎；1 例、葛城 HC 管内より急性出血性結膜炎；1 例と各々あった。基幹定点からの報告は、桜井 HC および葛城 HC 両管内共になかった。

(村井 記)

県中部外来状況 外来数はほぼ横ばい、そう多くはない。発熱、咽頭発赤の夏風邪、手足口病、水痘、A 群溶連菌感染症など種々の様相。感染性胃腸炎は嘔吐のノロ様の例が多いがまだロタ陽性例がある。インフルエンザは終焉の印象であるが、B 型が幼稚園であったとして来院された例があり検査は陰性であった。

(岡本 記)

県南部地区概況 報告数（第 19 週→第 20 週）は 51 例→56 例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（29 例→35 例）、②A 群溶連菌咽頭炎（3 例→8 例）、③咽頭結膜熱（3 例→5 例）、④インフルエンザ（5 例→4 例）、⑤水痘（5 例→2 例）、⑥突発性発疹（2 例→1 例）、⑦ヘルパンギーナ（0 例→1 例）であった。

(柳生 記)

県南部外来状況 連休明けの第 19 週はまだ保育所でのヒトメタニューモウイルス感染症の流行らしき状況が見られたり、近隣の中学校等で B 型インフルエンザの発生が見られた。第 20 週では他の保育所で B 型インフルエンザの流行が始まり、今週尚増加している。感染性胃腸炎はロタの流行が続いており、ロタ・アデノ陰性（ノロ疑い）家族例や、アデノ、カンピロバクターなども見られる。A 群溶連菌咽頭炎で頸部リンパ節腫脹例もあり。37～38℃発熱、頸部リンパ節腫脹主訴で受診 3 歳例は第 3 病日入院後に高熱、発疹、眼球充血、口唇潮紅等出現、川崎病の経過であった。手足口病が 1 例あった。

(山本 記)

感染症情報センターホームページアドレス
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（4月）】

平成 25 年 4 月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・性感染症（STD）患者数（人）

疾病名\報告月	4 月		前月（3 月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	4	0.44	9	1.00
性器ヘルペスウイルス感染症	2	0.22	1	0.11
尖圭コンジローマ	1	0.11	3	0.33
淋菌感染症	2	0.22	1	0.11

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾病名\報告月	4 月		前月（3 月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41	6.83	17	2.83
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	18	3.00	5	0.83
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

